

**国内復興応援活動の「午後ティーHAPPINESSプロジェクト」第三弾
「キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティー」を数量限定にて新発売
～今年は自動販売機限定商品も新たに発売～**

キリンビバレッジ株式会社（社長 吉村透留）は、紅茶飲料売上本数No.1ブランド※1「キリン 午後の紅茶」ブランドの継続的なCSV※2活動である「午後ティーHAPPINESSプロジェクト」の第三弾として、「キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティー」280mlペットボトルを4月11日（火）より全国の自動販売機で新発売、同商品の500mlペットボトルについても6月27日（火）より全国で数量限定にて新発売します。

※1 インテージ SRI+ 紅茶飲料市場 2022年1月～12月 累計販売本数 ※2 Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造

2022年、同プロジェクトの第二弾として発売した「キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティー」の販売数量は、好調だった第一弾（2021年）と比較して約3割増となりました。今年は、自動販売機限定の280mlペットボトルを新たに発売することで、お客様と本商品の接点拡大を目指します。

2023年2月には、寄付金として合計48,916,858円を熊本県の各団体に贈呈し、熊本復興応援・地域活性化のために各団体で有効活用いただきます。また「午後の紅茶」ブランドでは、2016年から2018年まで熊本県南阿蘇鉄道見晴台駅や白川水源にてCM撮影を実施し、南阿蘇村の美しい風景を発信するなど熊本県との取り組みを行ってきました。プロジェクト3年目となる2023年は、継続して支援してきた南阿蘇鉄道の完全復旧も予定されており、引き続き熊本県の魅力を発信していきます。

2023年、午後の紅茶は“紅茶の幸せを広げるブランド”として、人と社会を健やかにする商品や健康・コミュニティ・環境への取り組みなどを通じて、お客様と社会に幸せを届けていきます。

「午後ティーHAPPINESSプロジェクト」について

復興に向けて前へ進む方々の思いと、全国のお客様の応援の気持ちを「午後の紅茶」を通してつなぐ国内復興応援プロジェクトです。復興応援先の国産素材を使用した「午後の紅茶 for HAPPINESS」シリーズの発売、ならびに売り上げに応じた寄付を行います。

「キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティー」について

- ・本商品の280mlペットボトルは売り上げ1本につき2.2円、500mlペットボトルは3.9（サンキュー）円が熊本県各支援先に寄付される「午後の紅茶」ブランドの“国内復興応援型商品”です。
- ・渋みが少なく、スッキリ優しい飲み口が特長の熊本県産紅茶葉を6%使用し、上品な甘さの熊本県オリジナルいちごゆべに（果汁0.1%）を組み合わせたフルーツティーです。2022年好評だった味わいをベースに、紅茶のおいしさをより感じられるようにブラッシュアップしました。
- ・パッケージは、本商品の象徴である「蝶結びのリボン」で感謝の気持ちやつながりを表現しながら、金色の帯を入れるなど、2022年以上に紅茶らしい上質感がお客様に伝わるデザインにしました。
- ・パッケージ裏面の蝶結びがハートのリボンになっている隠れデザインも数量限定で販売します。



熊本県南阿蘇鉄道見晴台駅に設置している自動販売機について

4月11日（火）より見晴台駅の自動販売機が「キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティー」280mlペットボトル専用自動販売機として期間限定で登場します。

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

※添付資料・2022年「午後ティーHAPPINESSプロジェクト」第二弾の寄付金の活用について 1枚

記

- | | |
|-------------------|--------------------------------------|
| 1.商品名 | 「キリン 午後の紅茶 for HAPPINESS 熊本県産いちごティー」 |
| 2.容量・容器 | ①280ml・ペットボトル ②500ml・ペットボトル |
| 3.発売地域 | ①自動販売機 ②全国 |
| 4.発売日 | ①2023年4月11日（火） ②2023年6月27日（火） |
| 5.価格（消費税抜き希望小売価格） | ①135円 ②160円 |

以上

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビバレッジお客様相談室（フリーダイヤル）0120-595955
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>

■添付資料：2022年「午後ティーHAPPINESSプロジェクト」第二弾の寄付金の活用について

2023年2月に、下記4団体へ合計48,916,858円を贈呈しました。各団体での寄付金の活用方法については、下記のとおり予定しています。

1. 被災地復興支援（熊本県庁）：

・寄付金として贈呈。2020年7月豪雨からの復旧・復興事業に活用。

2. 食産業支援（JA熊本経済連）：

・農産業活性化のため下記3つの活動に活用。

（1）「ゆうべに」いちごのブランディング

・地元企業とコラボレーションし開発した「ゆうべに」いちごの加工品を県内外へPR、販路を拡大するために活用。加工品を接点として、年間通じて「ゆうべに」いちごをお客様に知っていただく機会を提供。

（2）熊本県産農畜産物のPR

・他企業とのコラボレーションにより、県産農畜産物を使ったメニュー開発や熊本フェアなどを通じて、多くの方へ県産農畜産物を味わってもらう機会を提供。

（3）冬場の野菜消費拡大

・全国でも生産量が多い熊本県産のトマトやなす^{※3}を、消費が落ちる冬場に需要を喚起すべく、レシピサイトとコラボレーションしてトマト、ミニトマト、なすを使用した温かいレシピを提案。

※3 作物統計調査 作況調査（野菜） 確報 令和3年産野菜生産出荷統計，令和3年産都道府県別の作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（冬春トマト、冬春なす）

3. 地域活性化（南阿蘇村／南阿蘇鉄道）：

・過去の「午後の紅茶」CMのロケ地として使用した南阿蘇鉄道の駅および周辺施設の整備、沿線にぎわい事業への活用など、幅広く地域活性化のために活用。

・南阿蘇鉄道立野駅および周辺整備。

・7月15日（土）の南阿蘇鉄道全線運行再開に合わせて、PRイベント（主催：南阿蘇村）などを実施。

4. 子どもの笑顔づくり支援（南阿蘇村／教育委員会）：

・図書室、子育て支援センターとフリールームを備えた「南阿蘇村複合施設 LOOP（るーぷ）みなみあそ」の周辺に、訪れた子どもたちが安心して遊べる周辺整備事業に活用。



©2010 熊本県くまモン

<2023年2月「午後の紅茶」熊本県寄付金贈呈式>



<2023年2月「午後の紅茶」
JA熊本経済連寄付金贈呈式>



<南阿蘇鉄道 第一白川橋梁と車両>



<2023年2月「午後の紅茶」
南阿蘇村贈呈式>